

平成18年7月豪雨災害復旧の状況

昨年7月の豪雨災害により、市内各所で甚大な被害が発生しましたが、災害に強いまちづくりをめざし、災害の発生した箇所等で、長野県・岡谷市による復旧工事が進められています。

平成18年7月豪雨による災害関連緊急砂防・治山事業位置図



凡 例	
	砂 防 え ん 堤
	床 固 工
	沈 砂 地
	山 腹 工
	谷 止 工

- ・ 12溪流20か所の砂防工事
- ・ 11地区の治山工事

工事箇所一覧表

地区	河川名等	工事内容	
		砂防事業	治山事業
花岡区	小田井沢川	えん堤3基	山腹工3か所
	八重場沢川	えん堤1基	
	ウノ牛沢川	えん堤1基	
小坂区	栃久保川		山腹工1か所
橋原区	志平川	えん堤2基	山腹工1か所
鮎沢区	本沢川	えん堤3基	山腹工6か所
	的場川	えん堤2基	
駒沢区	中村沢川	えん堤1基	山腹工1か所
	原沢川	えん堤2基	山腹工2か所
	追鶴沢川		山腹工1か所
	待張川	えん堤2基	
三沢区	一の沢		山腹工2か所
	唐沢	えん堤1基	
新倉区	毘沙門沢	えん堤1基	
横川区	横河川左支川	えん堤1基	山腹工1か所
その他	内山		山腹工2か所
	勝弦峠		山腹工2か所

災害関連緊急砂防事業



災害により、溪流に堆積した土砂が、次期出水により下流域に著しい土砂災害をおよぼす恐れを防ぐ事業で、土石流が発生した市内の12溪流で、砂防えん堤の建設が進んでいます。
(川岸 待張川)

災害関連緊急治山事業



土砂崩れ等が発生した崩壊地に植物が生育できるよう、斜面を安定させるため山腹工や谷止め工など、土砂の流出や崩壊の拡大を防ぐ事業が進んでいます。
(塩嶺 内山)

道路・河川・農林業施設の復旧工事

道路災害復旧の状況

道路の土砂撤去や陥没等を復旧しました。
(湊三丁目)



河川災害復旧の状況

護岸の侵食や流路の崩壊を復旧しました。
(川岸 唐沢川)



農地・農業用施設 災害復旧の状況

農地の畦畔崩壊や農道・水路の土砂流入等を復旧しました。
(湊 栃久保)



林道災害復旧の状況

林道の崩壊や陥没等を復旧しました。
(川岸 高尾山線)



平成18年7月豪雨災害一周年追悼式を開催します

日 時 7月19日(木) 午前9時～ 市内一斉にサイレン吹鳴しますので黙とうをお願いします。

場 所 湊廃川敷地 (みなと保育園南側)

雨天時：カノラホール 小ホール

※ 追悼式終了後から正午までどなたでも献花いただけます。

31日現在) らせします

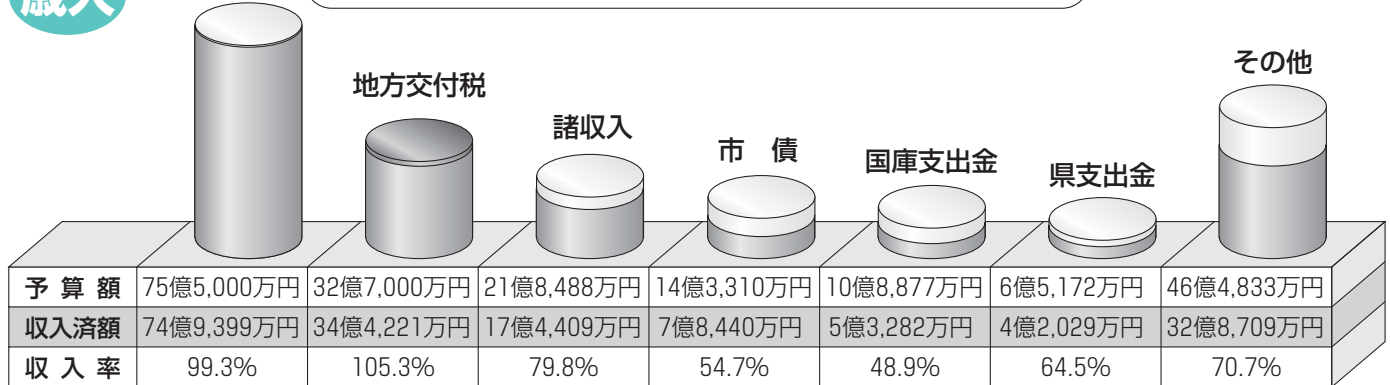
市では、年2回財政状況を公表しています。
市税や国からの交付金などが、みなさんの生活にどのように使われているのか、ご覧ください。
なお、今回の数値は平成19年3月31日現在のものですが、市の会計はその年度の会計を整理する期間（出納整理期間）が5月31日まで設けられていますので、これが平成18年度の決算額とはなりません。

一般会計

予算額 208億2,680万円

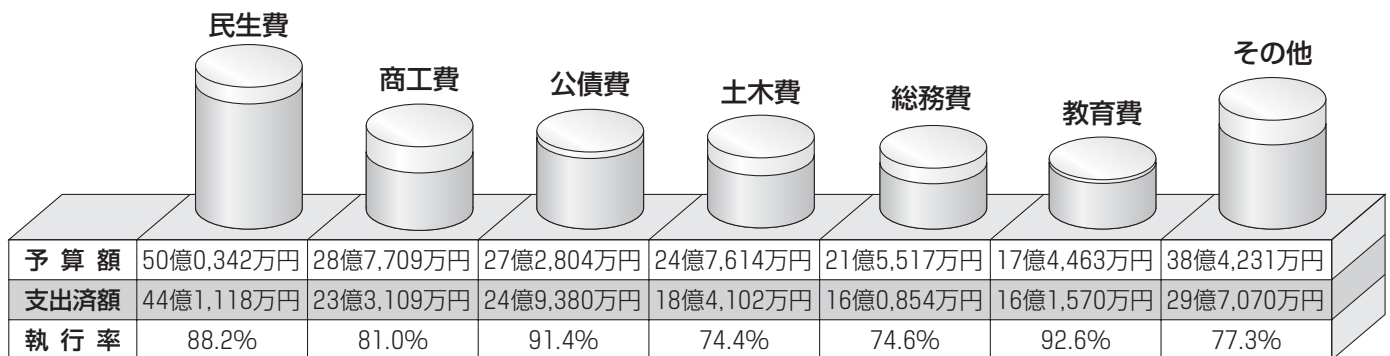
歳入

市税 収入済額 177億0,489万円 収入率 85.0%



歳出

支出済額 172億7,203万円 執行率 82.9%



一般会計

平成18年度の一般会計は、下半期に7回の補正が行われ、補正額は上半期を含めた総額で18億380万円となりました。

その内容をみますと、7月豪雨の林業施設復旧事業費の追加1億4857万円、農業災害復旧費1億655万円、河川復旧事業費の追加9449万円等が主なものとなっています。

この結果、平成18年度最終予算額は208億2680万円となり、前年度と比較して18億1173万円の減となっています。

歳入

予算額に対する収入済額は177億489万円で収入率は85.0%です。予算額の構成比率は、市税が最も大きく35.8%を占め、これに続いて地方交付税15.6%、諸収入10.4%が大きな割合を占めています。

歳出

予算額に対する支出済額は172億7203万円です。支出割合は82.9%となっています。予算額の構成比率は、民生費が最も大きく

平成18年度下半期（平成19年3月） 市の財政状況をお知

特別会計

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	50億4,257万円	38億7,671万円	76.9%	40億8,460万円	81.0%
地域開発事業	7億6,090万円	2,293万円	3.0%	4億3,265万円	56.9%
分収造林事業	2,260万円	1,015万円	44.9%	458万円	20.3%
霊園事業	2,191万円	3,187万円	145.5%	1,886万円	86.1%
老人保健事業	55億2,801万円	50億7,185万円	91.7%	49億6,795万円	89.9%
温泉事業	2,340万円	2,668万円	114.0%	1,930万円	82.5%
訪問看護事業	4,040万円	6,102万円	151.0%	3,525万円	87.3%
合計	114億3,979万円	91億0,121万円	79.6%	95億6,319万円	83.6%

財産と借入れ

(3月31日現在)

市の財産	土地	87万9,617㎡
	建物	26万7,701㎡
	基金等	53億9,184万円
	有価証券	3,060万円
市の借金	市債(累計)	247億7,871万円
	一時借入等	11億5,575万円

(企業会計・特別会計を除く)

企業会計

会計名	収入		支出		
	予算額	収入済額	予算額	支出済額	
病院事業	収益的収支	90億3,183万円	78億8,258万円	90億3,183万円	79億6,945万円
	資本的収支	5億3,652万円	5億4,501万円	9億5,277万円	8億9,679万円
水道事業	収益的収支	10億0,230万円	9億9,208万円	9億8,184万円	9億4,890万円
	資本的収支	1億4,585万円	918万円	5億7,031万円	4億6,577万円
下水道事業	収益的収支	17億7,631万円	17億6,206万円	17億7,409万円	17億2,536万円
	資本的収支	5億0,218万円	4億3,668万円	12億4,389万円	11億1,188万円

特別会計

特別会計では下半期中に1つの会計について補正が行われ、最終予算額は11億3,979万円となりました。

予算額に対する収入済額は、91億1,211万円で収入率が79.6%、支出済額は95億6,319万円で執行率が83.6%となっています。

23.9%を占め、これに続いて商工費13.7%、公債費13.0%が大きな割合を占めています。

計画行政で 健全な財政運営を

平成18年度は、7月19日に発生した豪雨災害により市民の財産に大きな被害がおよび、復旧、復興に多額の経費を要しました。今後起こりうる有事に備え、財源の確保も早急に必要になってくることから今後も徹底した経費の節減と効率的な行政運営のもとに健全財政を維持しつつ、災害に強いまちづくりを進めるとともに、一層多様な市民要望の実現と福祉の向上に努めていきます。